



shaping your dreams

環境報告書 2020





CONTENTS

- 01 | 会社紹介
- 01 | 会社概要
- 02 | 主な事業内容
- 03 | トップメッセージ
- 04 | 理念・方針
- 05 | 環境への取り組み
- 05 | 環境経営
- 06 | 環境会計
- 07 | 事業のマテリアルバランス
- 08 | 資源循環の促進
- 08 | 環境負荷の低減
- 09 | 環境配慮型の製品・サービス
- 11 | 社会への取り組み
- 11 | お客様とともに
- 12 | 社会とのコミュニケーション
- 13 | 社会からの評価
- 14 | 生産工場の環境データ
- 15 | お問い合わせ一覧

当社グループの主な事業内容

切削工具・転造工具・測定工具・工作機械・機械部品の製造販売、工具の輸入販売、工業所有権等の取得、貸与、譲渡およびこれらの技術指導。



編集方針

オーエスジーは、2001年度から環境に関する詳細情報をステークホルダーの皆様提供することを目的に環境報告書を発行してきました。2014年版から環境負荷低減の新たな取り組みとして冊子の発行は行わずホームページへの掲載のみとしました。

ISO14001認証取得

認証機関：一般財団法人日本品質保証機構 (JQA)
登録番号：JQA-EM1088
初回登録日：2000年11月10日

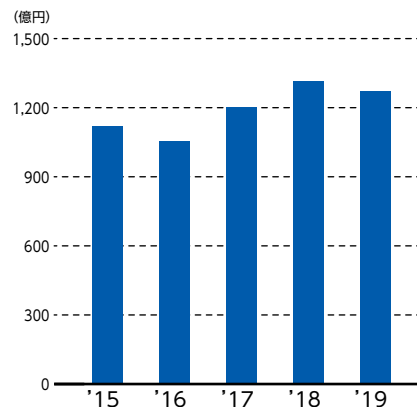
対象期間

2019年度(2018年12月1日から2019年11月30日まで)の活動を中心として報告しています。

会社概要 (2019年11月末現在)

社名：オーエスジー株式会社
本社：〒442-8543 愛知県豊川市本野ヶ原3丁目22番地
TEL 0533-82-1111
設立：1938年3月26日
代表：代表取締役社長兼CEO 石川則男
資本金：121億94百万円
事業所：9事業所
営業拠点：29箇所
従業員数：1,845名(グループ全体 7,236名)
連結子会社：(国内)16社 (海外)54社

連結売上高推移



オーエスジーは、世界トップシェアを誇るタップを柱に、エンドミル、ドリル、転造工具、ゲージなどを製造・販売する総合工具メーカーです。1938年の創業以来、その優れた設計・開発力と提案力により、常にお客様のニーズと課題に徹底的に取り組み、付加価値の高い製品群を生み出し続けてきました。

その企業姿勢はオーエスジーの企業DNAとして受け継がれ、地球規模の事業展開と世界の工具市場をリードする製品開発の原動力となっています。

OSGグループのグローバルネットワーク





持続可能な世界の実現へ!

総合工具メーカーとして地球規模で事業を展開し、創業以来受け継がれてきたチャレンジ精神を環境面でも発揮し、グローバルステージで成長を続けています。「信頼を未来につなぐ」企業として、持続可能な世界の実現に貢献してまいります。



オーエスジー株式会社
代表取締役社長兼CEO

石川 則男

2020年は、弊社の中期経営計画である「The Next Stage 17」の仕上げの年となります。

世界経済動向は先行き不透明であり、また、新型コロナウイルス感染拡大による経済への影響など、刻一刻と変化する事業環境に対応できるようグローバルな視野を持ち、取り組んでいく必要があります。

また、2020年は、ロボット工学、人工知能AI、ナノテクノロジー、バイオテクノロジー、IoT、自動運転など、さまざまな分野で第4次産業革命を大きくけん引する第5世代通信(5G)が始まる年でもあります。一つ一つ単独した情報の価値というものは必ずしも高くはなく、情報がつながることが重要であり、弊社で取り扱う工具においても総合的につながった形の商品とサービスが真の価値を生むものと考えています。

2020年5月にNEO新城工場が稼働します。加えて、各種データを一元化する「OPDM(OSG Product Data Management)」を基軸とした全社横断プロジェクト「OSG4.0」により、主力工場のスマートライン化を積極的に進め、情報のつながりを強化していきます。

SDGs(Sustainable Development Goals)は、持続可能な世界を実現するために、2015年に国連で採択された2030年に向けた開発目標です。オーエスジーグループは、この持続可能な開発目標の考え方を取り入れつつ、省エネルギーかつ効率的で環境にやさしい製品(エコプロダクツ)及び製品づくり(エコファクトリー)を強化し、社会の持続的な発展に貢献していくことを目指します。皆様には変わらぬご支援とご理解を賜りますよう、よろしくお願い致します。

shaping your dreams

オーエスジーは、創立100周年に向けて新たなブランドタグライン「shaping your dreams」を制定いたしました。

- 高品質で高性能な製品を作り出す確かな「技術力」
- 真摯な姿勢で粘り強くやり遂げる「対応力」
- 期待の先を行く「提案力」と「創造力」

私たちは、地球規模で事業展開する総合工具メーカーとしてお客さまとのコミュニケーションを土台に、4つの力を掛け合わせ、お客さまの夢をカタチにすることで、ものづくり産業の発展と豊かな未来の実現に挑み続けます。

<http://www.osg.co.jp/brand/>



shaping your dreams

経営基本方針

- 企業は社会の公器であることを常に自覚し、顧客に喜ばれる製品を提供します。
- 社員には、職場の適正配置と生活の向上を図ります。
- 株主には適正な安定配当を行うように努めます。
- 社会的な信頼を高めつつ堅実な経営を行い、世界的企業に発展するように努めます。

環境基本理念

- 経営基本方針との調和を図りながら地球環境を保全し、行動する。
- 三つの宣言(1996年10月)「地球会社」「健康会社」「環境に優しい会社」の情報を広く公開する。
- 社会に貢献する商品・サービスの提供を図ると共に環境へ配慮して活動する。
- スローガンに地球環境の保全、自然との共生を図り行動できる企業づくりに努めます。

環境方針

「環境に優しい会社」「環境を大切にす文化」をスローガンに地球環境の保全、自然との共生を図り行動できる企業づくりに努めます。

第7次環境中期計画スローガン(2018年度～2020年度)

スローガン: 更なる環境改善でエコカンパニーへ!

【エコファクトリー、エコプロダクツの活動活性化でコスト削減を図る】

● 推進する活動

- 【エコファクトリー】…副資材(研削油・砥石)の使用量削減やエネルギー使用量削減など
- 【エコプロダクツ】…長寿命工具の開発、顧客の環境負荷低減に繋がる工具開発など
- 【省エネルギー】…段取り時間削減やサイクルタイム向上などの生産性向上など

2019年度環境実績及び2020年度目標

No	環境目標		2019年度		2020年度 目標
	項目	内容	目標値	実績値	
1	省エネルギー	総エネルギー使用量削減 (エネルギー源:電気・重油・LPガス) 総使用量 BM:96,676GJ/月(2017年実績)	1.0%削減 957GJ/月 削減	2.0%削減 1,911GJ/月 削減	1.0%削減 957GJ/月 削減
		生産高原単位 BM:20GJ/百万円	1.0%削減 0.20GJ/百万円 削減	9.8%削減 1.91GJ/百万円 削減	1.0%削減 0.20GJ/百万円 削減
2	エコプロダクツ	環境に優しい製品開発	31点	27点	33点*
3	エコファクトリー	環境に優しい製品作り	34点	48点	37点*

*環境活動のレベルアップ 弊社基準点数化(満点60点)



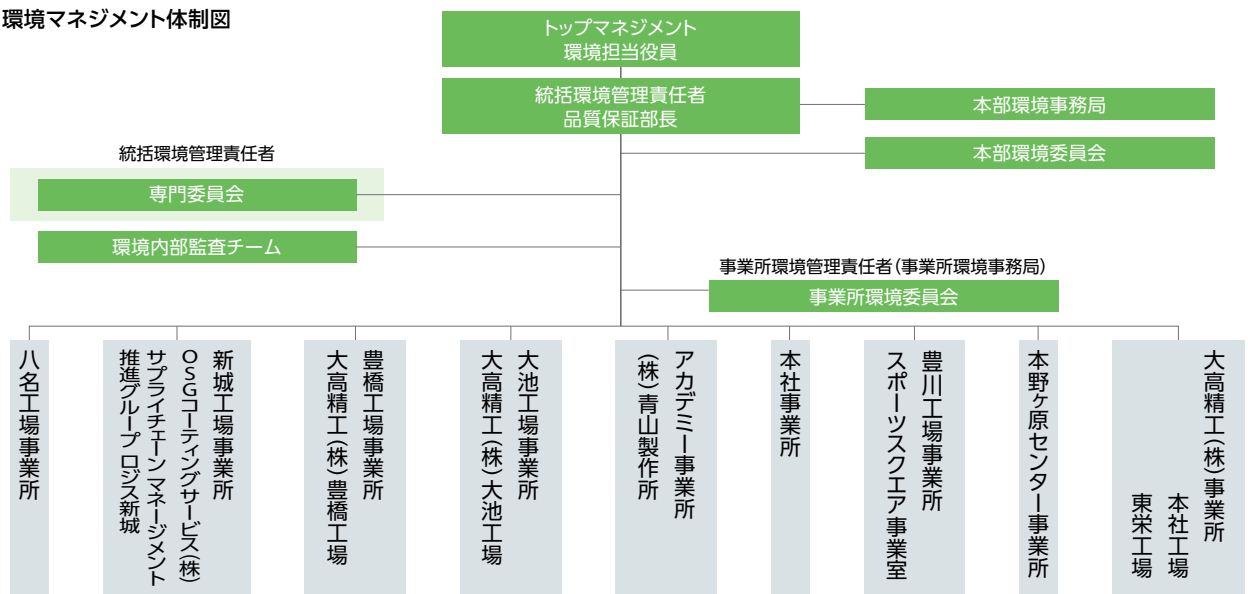
環境への取り組み

次の世代にまで影響がおよぶ環境問題は、オーエスジーが取り組むべき重要な課題です。資源の効率的な利用や環境に配慮した製品作り、お客様への環境に優しい製品・サービスの提供等に積極的に取り組み、環境負荷低減と資源循環型社会の構築を目指しています。

環境方針

オーエスジーでは、本部環境委員会を設置し、社内横断的に環境戦略を立案し、積極的に環境問題の解決に取り組んでいます。環境負荷の大きい現場に近い部署が環境マネジメントの主体となる体制として、環境マネジメント活動はトップマネジメントに環境担当役員、統括環境管理責任者に品質保証部長として体制を作り活動しています。

環境マネジメント体制図



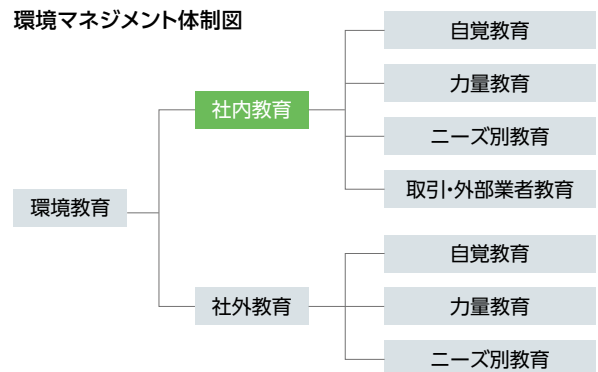
環境教育

新任管理監督者はISO14001のマネジメントシステムを理解し、環境内部監査員として活躍してもらうために、力量教育を実施して社内認定しています。

また各事業所の環境担当者には幅広く環境法の基礎的な知識を習得してもらうため、環境法規制教育で知識と実践的な力量の向上に取り組んでいます。

緊急時に対する対応訓練についても各事業所の担当者への周知徹底を行っています。

環境マネジメント体制図



関連会社の環境マネジメントシステムの構築状況

ISO14001取得状況

2000年	11月	オーエスジー(株)9事業所	ISO14001認証取得
2004年	10月	(株)ノダ精工	ISO14001認証取得
2005年	12月	三和精機(株)滋賀製作所	ISO14001認証取得
2007年	10月	日本ハードメタル(株)九州工場	ISO14001認証取得
2007年	10月	(株)青山製作所	ISO14001認証取得
2008年	10月	大高精工(株)	ISO14001認証取得
2008年	10月	大宝産業(株)	ISO14001認証取得
2014年	6月	日本ハードメタル(株) 本社・本社工場	ISO14001認証取得

環境会計

環境会計システムは、環境省の「環境会計ガイドライン」を参考にしています。

環境会計を通じて、環境保全活動に取り組む当社の姿勢と考え方を理解いただき、更なる社会との良好な関係の向上を目指します。

過去3年間のコストと効果の推移

(単位：千円)

	2017年度	2018年度	2019年度
1 積極的成本	36,448	231,247	223,520
2 維持コスト	62,292	64,521	66,326
3 環境損失補償	0	0	0
4 環境保全効果	13,519	29,965	37,169

2019年度のコストと効果の詳細

(単位：千円)

分類	項目	具体的な取り組み内容	設備等の投資金額
1 環境目的達成に向けた「積極的成本」	①公害防止コスト	—	0
	②地球環境保全コスト	空調熱源機の更新、照明LED化等	223,520
	③資源環境コスト	—	0
			小計 223,520
2 環境マネジメントシステムの「維持コスト」	①環境保全活動に伴う人件費	環境事務局経費、マネジメント運用経費	15,000
	②環境教育・同資料作成コスト	セミナー参加、環境報告書	488
	③環境監査関連費用	外部審査費用、登録維持費用	998
	④環境関連法規制対応コスト	特定化学物質測定等	0
	⑤廃棄物処理およびリサイクル費用	廃棄物処理費用	45,066
	⑥循環測定費用	各種環境測定、分析費用	4,574
	⑦社会活動における環境保全コスト	日本機械工具工業会環境委員会活動費用	200
		小計 66,326	
3 環境損失補償費用	土壌汚染、自然破壊修復コスト等	—	0
			小計 0
			合計 289,846
4 環境保全効果	環境改善効果の合計	空調熱源機・変圧器更新、LED照明による省エネ	37,169
			合計 37,169



事業のマテリアルバランス

オーエスジーは、低炭素社会の実現と資源循環型社会の構築に貢献すべく、事業活動における様々な環境への影響を把握・管理し、エネルギー使用量の削減や製造プロセスで発生した廃棄物を再資源として使用する等の努力を続けています。

INPUT

(天然資源・エネルギー等)

エネルギー	
購入電力	10,033万kWh
重油／発電	418kL
重油／空調	440kL
LPG／空調	487t
用水／上水	118,076m³
工業用水	22,288m³
井水	3,809m³
紙(コピー用紙A4換算)	395万枚

資源	
原材料(金属素材)	1,890t
(内PRTR対象物質)	248t
油剤(切削、研削油)	511kL
その他	副資材等



OUTPUT

(廃棄物、水域・大気等への放出)

製品	
生産高	57,625百万円
包装用品	293百万円

廃棄物	
売却量	939.0t
リサイクル量	1,121.8t
最終埋立量	3.1t
合計	2,064t

水域への排出	
排水	144,173m³

※排水は主に生活排水です。
 ※排水量=用水の使用量としました。実際の排水は、水溶性クーラントへの使用や空調使用の蒸発等により使用量の50~60%と推測されます。

大気への排出	
エネルギー起源のCO ₂	
生産	49,768t

資源循環の促進

廃棄物について、ゼロエミッション活動を推進してきました。再利用、再生利用による資源が循環する仕組みづくり、排出されるごみを適正に処理する体制を確立させ2005年から再資源化率99%以上を実現しています。

再資源化率
99%

再資源化

金属屑(売却)	634.6t
紙ダンボール(売却)	76.4t
廃油(売却、リサイクル)	420.2t
油泥(売却、リサイクル)	174.5t
廃珪藻土(売却、リサイクル)	489.5t
廃珪石(リサイクル)	49.6t
廃プラ(リサイクル)	65.3t
木屑(リサイクル)	82.1t
その他(リサイクル)	68.6t
総再資源化重量	2,060.7t

環境負荷の低減

エネルギー使用量、CO₂排出量、廃棄物削減を推進してきました。環境負荷の継続的改善を進めるため「エネルギー使用の効率化」と「省エネ設備への代替化」を重点項目として全事業所を挙げて活動してきました。

エネルギー使用量

空調関連設備更新による省エネならびに全社LED照明の切り替え等を進めてた結果生産高原単位は、前年度18.4から同様水準を維持する結果となりました。

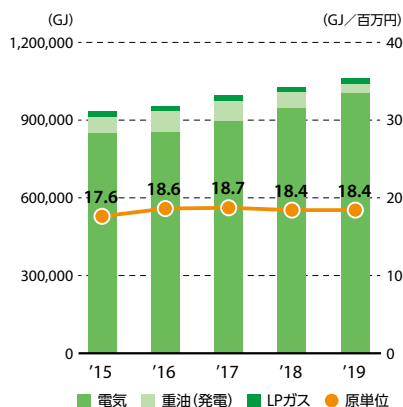
CO₂排出量

CO₂排出量の生産高原単位は、前年に比べ生産原単位は、9%と大きく改善ができました。要因は、省エネ設備への転換を図り、CO₂排出量を抑制することで効果ができました。

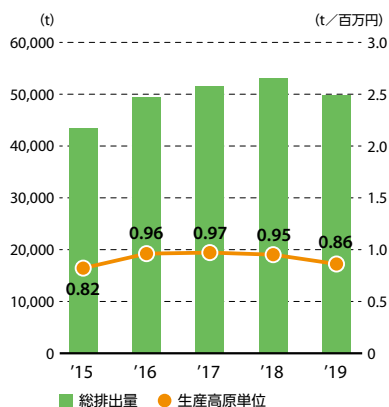
廃棄物の排出量と有価物比率

廃棄物の削減と有価物化への取り組みを継続的に活動を行ってきましたが、全体の廃棄物の削減は、前年比5%削減することができました。しかし削減が進んだものに有価売却物が多く含まれていたことにより有価売却比率は、前年度より5%低下する結果となりました。

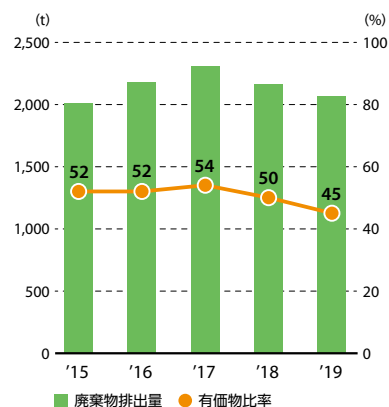
エネルギー使用量



CO₂排出量



廃棄物排出量と有価物比率





環境配慮型の製品・サービス

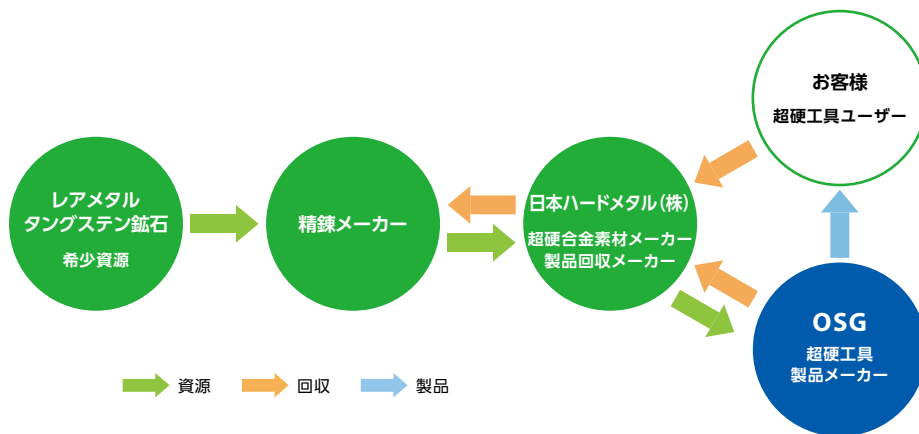
オーエスジーでは、環境に優しい製品作りやお客様への環境に優しい製品の提供に努めています。再研磨事業の充実や、高速切削、長寿命等高効率、省資源化した製品の開発を通じて環境負荷低減に積極的に取り組んでいます。

■ 超硬リサイクルの推進

超硬工具には、タングステン・コバルト等の希少資源が原料に含まれています。

オーエスジーは、グループ全体で超硬製品のリサイクルに取り組んでいます。

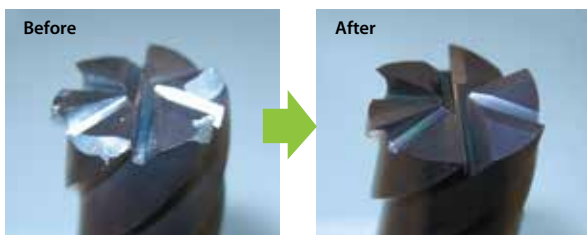
使用済み工具をお客様から回収し、希少金属をリサイクルすることで素材として再生して資源の有効活用することで、お客様のCSR活動やゼロエミッション推進に役立てるよう取り組んでいます。



■ 再研削サービス

タップ・エンドミル・ドリル等切削工具は使用を繰り返すと摩耗して切れなくなりますが、再研削により新品同様にその切れ味がよみがえります。

オーエスジーでは再研削をグループ会社で行っており、お客様のご要望にお応えしています。



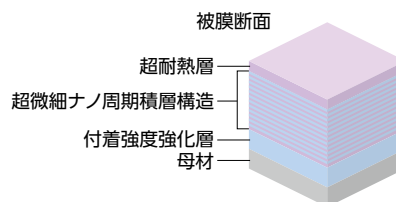
オーエスジーグループ再研削工場

- (株) 青山製作所
〒441-1231 愛知県豊川市一宮町宮前149
Tel. 0533-93-2524 Fax. 0533-93-2725
- (株) エスデイ製作所
〒300-2748 茨城県常総市馬場442-2
Tel. 0297-43-7181 Fax. 0297-43-7180
- ORS(株)
〒470-2102 愛知県知多郡東浦町緒川大草1-156
Tel. 0562-83-9841 Fax. 0562-83-9053
- ORS(株) 群馬工場
〒379-2235 群馬県伊勢崎市三室町5720番7
Tel. 0270-75-1333 Fax. 0270-75-1334
- 大高精工(株) 本社工場
〒441-1317 愛知県新城市有海字高田1番地10
Tel. 0536-25-0833 Fax. 0536-25-0835
- (株) 日新ダイヤモンド製作所(ダイヤモンド工具のみ再研)
〒520-1621 滋賀県高島市今津町大字今津1561番地の7
Tel. 0740-22-2415 Fax. 0740-22-4178

高硬度鋼用超硬ボールエンドミル AE-B-Hシリーズ

『高硬度鋼用新被膜デュロレイ (DUROREY) コーティングの採用』

AE-B-Hシリーズには高硬度鋼用革新的新被膜「デュロレイ (DUROREY)」コーティングを採用しました。超微細ナノ周期積層構造により、従来の高硬度鋼用被膜と比べ高い耐チップング性を発揮し、工具の長寿命化を実現しました。

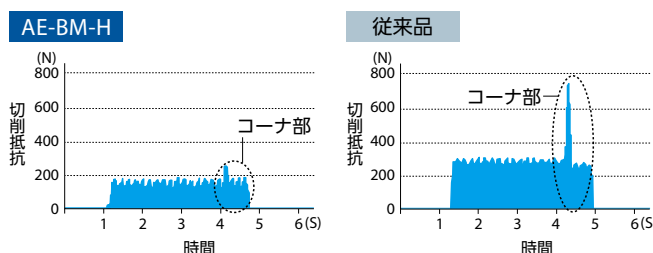


革新的新被膜「デュロレイ(DUROREY)」

高能率型4刃ボールエンドミルAE-BM-H

『高能率加工への追求』

ボール刃のスパイラルカーブを従来同等品に対し強くねじることで切削抵抗を低減しました。また不等分割を採用することで振動の周期性により増幅される自励振動を抑制し、高硬度鋼の高能率加工が可能となりました。

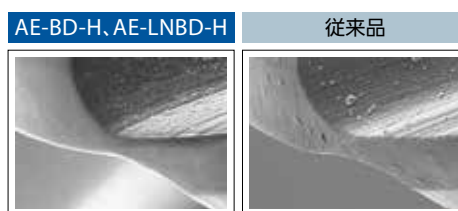


強いスパイラルカーブと不等分割の採用により、低抵抗で安定した加工を実現

高精度仕上げ用2刃ボール、ロングネックボールエンドミルAE-BD-H、AE-LNBD-H

『長寿命、そして高い加工面品位を実現』

AE-BD-H、AE-LNBD-Hは高精度仕上げ加工を追求した製品です。コーティング表面にはドロップレットと呼ばれる硬質な異物が存在し、この異物が加工面精度の低下へと繋がります。AE-BD-H、AE-LNBD-Hはこのドロップレットを取り除く、“コーティング表面平滑化処理”を施すことで、従来製品と比べ飛躍的に加工面品位が向上しました。

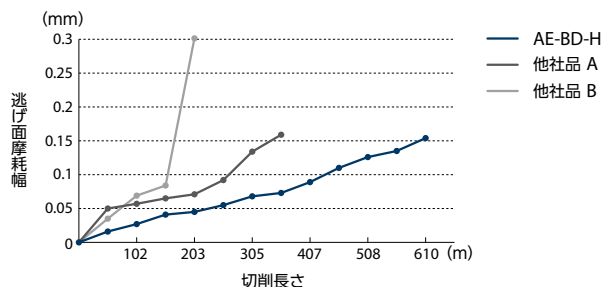


平滑化処理 (注: AE-LNBD-HのR0.25以下は未処理)

『自信を誇る最新高硬度鋼用ボールエンドミルAE-B-Hシリーズ』

金型業界では以前に増して短納期が求められています。熱処理時間の短縮や熱処理による歪を嫌い、高硬度焼き入れ鋼の直彫り加工へのニーズが高まっています。加えて高精度化のニーズも拡張しており、このようなニーズに応えるべく、今回3つの製品を開発しました。これらの製品は金型の短納期、かつ高精度化を実現し、加えて長寿命化により廃棄物削減にも貢献いたします。

使用工具	AE-BD-H R5×30	他社品
被削材	SKD11 (60HRC)	
切削方法	ポケット加工	
切削速度	150mm/min (4,800min ⁻¹)	
送り速度	870mm/min (0.09mm/rev)	
切込深さ	ap=0.2mm、pf=0.5mm	
切削油剤	エアブロー	
使用機械	横形マシニングセンタ (HSK63)	





企業は社会の一員であり、社会との双方向かつ良好な関係を維持しながら社会全体の持続可能性を追求していかなければなりません。オーエスジーでは、これを十分認識し、お客様や従業員など様々なステークホルダーとの円滑なコミュニケーションに努めていきます。

お客様とともに

高精度且つ高能率加工が可能な製品をご提供することで、お客様の環境負荷低減のお手伝いをさせて頂いております。工具を通してお客様の夢をカタチにするため、『shaping your dreams』をキーワードに、お客様から信頼される製品とサービスを提供することで、更なる顧客満足の向上を図っていきます。

■ 品質マネジメントシステム

当社は、これまでもオーエスジーグループで働くひとり一人がお客様に満足していただける魅力ある品質・環境に配慮した製品・サービスをお届けしてきました。これからも、品質マネジメントシステムの本質である顧客重視と継続的改善を再認識し、お客様に満足していただける工具を供給できるよう改善を続けていきます。

オーエスジーは、世界に通用する品質(QCDE)を提供し、顧客に信頼される品質保証体制を構築するためにOSG品質認定制度に合格させ、グローバルな展開が出来るように品質体制監査を実施しています。

■ 各種展示会出展

当社は、総合工具メーカーとして積極的に各種展示会に参加するとともに、セミナー開催などを行い、見て・感じて・体験していただくなど、工具を通じてお客様とのコミュニケーションを深めています。

オーエスジーが出展する国内外の最新の展示会(技術展・見本市)の情報を掲載しています。



INTERMOLD2019 テーマごとに分かりやすく展示



EMO2019 お客様でにぎわうOSGブース

主な出典展示会：

INTERMOLD 2019	2019年 4月
EMO 2019	2019年 9月
MECT 2019	2019年 10月



MECT2019 OSGブース



MECT2019
Aブランド製品 高硬度用超硬ボールエンドミル

社会とのコミュニケーション

地域社会との共生を目指すとともに、更なる社会の持続的な発展に貢献することにより社会的責任を果たしていきます。

■ 地元高校生への地域貢献

2019年2月6日(水)新城東高等学校作手校舎の生徒24名に、外部講師として1限目「郷土を知る」、2限目「社会にできるは」を講義しました。授業後校長先生より「生徒の生き生きとした発言する姿を見て教員も学ぶことができ、今後の就職活動や受験勉強に生かしたい」とお礼の言葉を頂きました。

■ 災害に強い森をつくる為に苗木の成長は下刈りから

2019年3月16日(土)森林整備ボランティア活動が豊橋市石巻山国有林で開催されました。

2009年の台風による倒木被害の跡地に苗木を植え体験し、照葉樹林を育成することで「台風や大雨に強い森づくり」を目的に始めました。

植樹した苗木は、成長しましたが、放置すると雑草に覆われ枯れてしまうのでそれを防ぐために「下刈り」と呼ばれる雑草木の除去作業を行っています。

■ ゴミ拾いで地域貢献

毎年5月から6月にかけて、各事業所の安全衛生委員会主催「ゴミ拾い活動」を行っています。ゴミ拾いを行うことで地域の美化に貢献するだけでなく、ポイ捨てを防止について一人ひとりが考え、意識を改める機会となりました。

■ きれいな里海を未来へ残すために

第11回里海ビーチクリーン活動に参加

2019年10月6日(日)愛知県田原市で開催された第11回里海ビーチクリーン活動に参加しました。

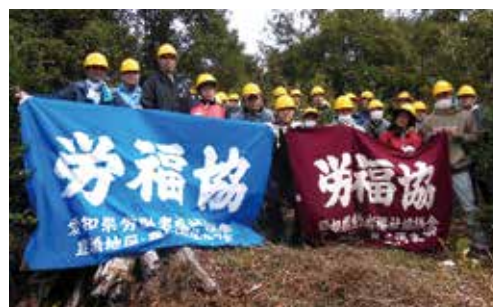
この活動は、きれいな里海を未来に残すことを目的として全国各地より2,000人以上が集まり、海岸のゴミ拾いを行いました。

海岸には、流木や空き缶の他家庭からの排出されたゴミがたくさん漂着し、中でもプラスチックゴミが海洋生物に大きな影響を与えています。

マイクロプラスチックを増やさないためにこの活動に参加していきます。



へボ蜂について語る講師の西郷さん



下刈り作業参加者の皆さん



昼時間にゴミ拾いする皆さん



ゴミ拾いする皆さん



■ 大澤科学技術振興財団 助成金贈呈式

2019年度は過去最高の8,183万円を助成

大澤科学技術振興財団は、2019年度の助成選考を行い、今年度は、32人の研究者に対し、総額8,183万円の助成を行いました。

1991年7月設立以来29年間で、延べ668人に対して総額8億3,800万円となっています。

これらの新しい研究成果は、工作機械・工具業界の発展にも役立っています。

『科学技術の研究に日夜専念している研究者を経済的に援助したい』という創業者の大澤秀雄さんの夢を、一步一步確実に実現しています。



受賞者の皆さん

社会からの評価

2019年度の事業活動により、第三者からいただいた評価を紹介します。

■ 文部科学大臣表彰

創意工夫功労者賞を2019年度は、2件受賞しました。

この賞は、“優れた創意工夫”により、技術の改善向上に貢献した勤労者を文部科学大臣が表彰し、現場の第一線で努力している人に光をあてるための賞です。

2010年から10年連続受賞し、受賞件数19件21名となりました。



受賞された森田行則さん(左)と今泉知子さん(右)

■ 2019年“超”モノづくり部品大賞

「機械・ロボット部品賞」を受賞

モノづくり日本会議および日刊工業新聞が主催する「2019年“超”モノづくり部品大賞」においてアディティブ・マニファクチャリング用エンドミル「AM-EBT」「AM-CRE」が機械・ロボット部品賞を受賞しました。

この賞は、少子高齢化や環境保全、資源・エネルギー安定確保、国際競争力激化など、日本のものづくりが直面する課題の解決と新たな成長への道標となるようなモノに対して、その貢献を称えるものです。



受賞された中西さん



INPUT

資源エネルギー投入量(年間)

	2018年度	2019年度
購入電力	3,806万kwh	4,010万kwh
	100%	105%
重油/発電	612kL	418kL ^{*2}
	100%	68%
重油/空調	853kL	415kL
	100%	49%
LPG/ 表面処理用	109t	115t
	100%	106%
用水(上水)	44,894m ³	35,463m ³
	100%	79%

*2 自家発電を減少

OUTPUT

CO₂排出量・産業廃棄物排出量^{*1}

	2018年度	2019年度
CO ₂ 排出量	22,419t	18,328t
	100%	82%
CO ₂ 排出量 原単位	1.08t/百万円	0.75t/百万円
	100%	70%
廃棄物 排出量	661t	661t
	100%	100%

*1 廃棄物排出量は有価物を除く

八名工場



新城工場



豊橋工場



大池工場



	2018年度	2019年度
購入電力	2,386万kwh	2,597万kwh
	100%	109%
LPG/空調	332t	370t
	100%	111%
用水 (上水)	57,669m ³	60,471m ³
	100%	105%
用水 (工場用水)	23,803m ³	22,288m ³
	100%	94%

	2018年度	2019年度
CO ₂ 排出量	12,337t	11,868t
	100%	96%
CO ₂ 排出量 原単位	0.92t/百万円	1.12t/百万円
	100%	122%
廃棄物 排出量	199t	204t
	100%	103%

*1 廃棄物排出量は有価物を除く

	2018年度	2019年度
購入電力	1,117万kwh	1,092万kwh
	100%	98%
重油/空調	0kL	0kL
	—	—
用水(上水)	7,497m ³	7,043m ³
	100%	94%

	2018年度	2019年度
CO ₂ 排出量	5,318t	4,990t
	100%	94%
CO ₂ 排出量 原単位	0.98t/百万円	0.92t/百万円
	100%	94%
廃棄物 排出量	178t	171t
	100%	96%

*1 廃棄物排出量は有価物を除く

	2018年度	2019年度
購入電力	1,810万kwh	1,866万kwh
	100%	103%
用水 (上水)	5,454m ³	6,286m ³
	100%	115%
用水 (井水)	160m ³	0m ³ ^{*3}
	100%	0%

*3 LPG空調使用中止にて減少

	2018年度	2019年度
CO ₂ 排出量	8,694t	8,528t
	100%	98%
CO ₂ 排出量 原単位	0.51t/百万円	0.50t/百万円
	100%	97%
廃棄物 排出量	106t	143t
	100%	135%

*1 廃棄物排出量は有価物を除く

【お問い合わせ一覧】

オーエスジー株式会社ホームページ

<https://www.osg.co.jp/>

企業情報(IR情報)

https://www.osg.co.jp/about_us/ir/

**オーエスジー株式会社
環境報告書 2020**

2020年5月 初版発行

編集：品質保証部 品質保証グループ 品質保証・ISO統括チーム

次回発行予定：2021年5月

【お問い合わせ】

本報告書に関するご意見やご質問は、下記までご連絡ください。

オーエスジー株式会社本野ヶ原センター
品質保証部
品質保証グループ 品質保証・ISO統括チーム

〒442-8544 愛知県豊川市本野ヶ原1-15

TEL : 0533-84-8929

FAX : 0533-84-8952

E-mail : infoeco@osg.co.jp